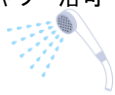
クリニカルパスウェイ
大腸ESD（粘膜下剥離術）を受ける患者さんへ

令和4年3月作成
東京慈恵会医科大学西部医療センター

患者番号　@PATIENTID　　**患者氏名**　@PATIENTNAME

	外来・入院前	入院日～治療前日	治療当日	治療後1日	治療後2日～退院まで	次回外来までの退院後の生活
日時	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日～　月　日	
目標	□治療を理解し、準備ができる	□治療の準備を整えることができる	□安全・安楽に治療に望める	□安静を保ち、合併症を予防できる	□安静にて合併症を予防できる □生活の注意点が分かる	□生活の注意点が分かり、療養ができる
食事		□状態に応じた食事となります □前日21時より飲食禁止になります	□飲食禁止となります 	□夕食から流動食を開始します。それまでは飲食禁止となります	□合併症がなければ、一日毎に3分粥、5分粥、全粥と食上げしていきます 	□香辛料が入っている辛い物やコーヒー、アルコールなど刺激になるものは控えてください □消化の良いものを心懸けてください
活動	□風邪をひかないように、怪我をしないように注意してください	□特に制限はありません	□治療後はベッド上安静になります。治療後2時間後からは排尿・排便時のみ歩行可能となります	□創部への負担を少なくするためになるべく安静にしてください	□創部への負担を少なくするためになるべく安静にしてください	□身体に負担がかかるような激しい運動は控えてください
検査処置	□外来でCT・エコー・MRI・採血など諸検査をおこないます	□状態に応じ、採血・CTなどの検査がある場合があります □前日の夜に点滴の針をいれます	□治療終了後にレントゲンがあります	□採血・レントゲンがあります 	□状態に応じ採血・レントゲンを適宜おこなっていきます	□外来にて病理結果の説明を行います
薬	□治療に対し休薬が必要な薬剤は、医師より説明があります ・薬剤 （　　） ・日時 （　　月　　日　より）	□薬剤師が監査を行いますので提出してください □中止薬の確認をおこないます □入院の際に常用薬は持参してください。尚、持参していただく量は1週間分で構いません	□特別に内服がある場合は看護師または医師より説明があります □内服がある場合は、内服時のみ少量の飲水は可能です	□薬剤によって内服があります	□適宜持参薬の内服が再開します 	□中止薬の再開があります、看護師・薬剤師から薬について説明があります □内服は継続し、飲み忘れがないように注意してください
清潔			□入浴、シャワー浴は禁止となります	□清拭のみとなります	□食事開始後よりシャワー浴可となります 	□身体を清潔に保ちましょう、長風呂や熱いお風呂は体に負担がかかるので控えましょう
指導説明	□医師より治療の説明、同意書が渡されます □グリーンカウンターにて看護師より入院の説明や患者さんについてのお話があります	□看護師より再度治療についてや治療の流れについて説明があります	□入室は歩いて、帰室はストレッチャーにておこないます □不眠時は点滴があります	□合併症として創部からの出血があります。入院中排便に出血があった際にはトイレを流さずに看護師に見せてください。 □不眠時は点滴があります	□退院後の生活の注意点などの説明を看護師よりおこないます □医師より治療の成果や今後の治療についての説明があります	□退院後赤い便が出たときは、すぐに受診してください □入院中、外来、いつでも質問にお答えします 少しでも質問や疑問がある場合はご相談ください